

令和元年度事業報告書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

公益社団法人とやま被害者支援センター

1 相談事業

※ 延べ件数

区 分	29年度	30年度	元年度	増減数(率)
電話相談	220件	357件	313件	-44件(-12.3%)
面接相談	27件	28件	14件	-14件(-50.0%)
合 計	247件	385件	327件	-58件(-15.1%)

〈受付時間〉月曜日～金曜日 10:00～16:00 (年末年始、祝日を除く。)

(1) 電話相談(313件(メール、手紙を含む))

- 受 理：相談電話(413-7830) 112件、直接支援者等 201件
- 被害者との関係：本人 176件、親族(家族・親戚等)122件、その他
- 相談の端緒：リーフレット 16件、ホームページ 14件、警察教示等 8件、
他機関からの紹介 3件 その他
- 被害別：交通死亡事故 86件、強制わいせつ(準含)61件、殺人(傷害致死)40
件、強姦性交等(準含む)25件、財産的被害 20件、暴行・傷害 9件、
交通事故 8件、DV 3件、ストーカー 4件、その他
- 相談結果：助言 308件、他の機関・団体の紹介等

(2) 面接相談

- 相談者 10名、延べ 14件
- 相談結果：助言、他の機関・団体の紹介等

(3) 無料法律相談(原則：毎月第4水曜日、事前予約制)

29年度	30年度	元年度	増減数(率)
2件	5件	2件	-3件(-60.0%)

- 県弁護士会犯罪被害者支援委員会の全面的支援を受けて実施した。

(4) 臨床心理士等による心理相談

29年度	30年度	元年度	増減数(率)
0件	0件	0件	—

(5) 全国共通ナビダイヤル(平成29年4月1日運用開始)

29年度	30年度	元年度	増減数(率)
—	5件	1件	-4件(-80.0%)

- 県内からの利用(7:30～22:00)は1件で、当センターへの引き継ぎ相談はなかった。

<p>2 直接的支援事業</p>	<p>(1) 警察からの情報提供</p> <table border="1" data-bbox="427 215 1348 315"> <tr> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>元年度</td> <td>これまでの累計</td> </tr> <tr> <td>5件</td> <td>7件</td> <td>6件</td> <td>34件</td> </tr> </table> <p>○ 平成22年6月、県公安委員会から犯罪被害者等給付金の支給等に関する法律の規定に基づく「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受け、被害者等情報の提供を受けた。</p> <p>○ 被害者等の要望を受け、付き添い等の直接的支援を行った。</p> <p>(2) 直接的支援</p> <table border="1" data-bbox="427 600 1342 701"> <tr> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>元年度</td> <td>増減数(率)</td> </tr> <tr> <td>12件</td> <td>35件</td> <td>42件</td> <td>+7件(+20.0%)</td> </tr> </table> <p>○ 支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁判関連(証人出廷の送迎・付添い等) ・検察庁関連(検察官聴取で送迎等) ・弁護士関連(被害者参加弁護士紹介・事務所付添い等) ・自宅訪問(裁判の流れの説明、生活状況の把握等) ・行政窓口関連(各種相談・手続き等の付添い等) <p>○ 活動範囲</p> <p>県内及び県外(金沢市(名古屋高等裁判所金沢支部))</p>	29年度	30年度	元年度	これまでの累計	5件	7件	6件	34件	29年度	30年度	元年度	増減数(率)	12件	35件	42件	+7件(+20.0%)
29年度	30年度	元年度	これまでの累計														
5件	7件	6件	34件														
29年度	30年度	元年度	増減数(率)														
12件	35件	42件	+7件(+20.0%)														
<p>3 自助グループ支援事業</p>	<table border="1" data-bbox="427 1178 1439 1330"> <tr> <td>区分</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>元年度</td> <td>増減数(率)</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>10回</td> <td>7回</td> <td>8回</td> <td>+1回(-14.3%)</td> </tr> <tr> <td>延参加者数</td> <td>35名</td> <td>21名</td> <td>25名</td> <td>+4名(-19.0%)</td> </tr> </table> <p>○ 年10回(5月・11月を除く)のうち8回開催し、延べ25名が参加した。</p> <p>○ 自助グループは、現在7名構成。最近は、1回に1名が参加しており、犯罪被害相談員の資格を持つ事務局員及び支援活動ボランティアが運営の支援等に当たった。</p>	区分	29年度	30年度	元年度	増減数(率)	実施回数	10回	7回	8回	+1回(-14.3%)	延参加者数	35名	21名	25名	+4名(-19.0%)	
区分	29年度	30年度	元年度	増減数(率)													
実施回数	10回	7回	8回	+1回(-14.3%)													
延参加者数	35名	21名	25名	+4名(-19.0%)													
<p>4 広報啓発事業</p>	<table border="1" data-bbox="427 1570 1418 1671"> <tr> <td>区分</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>元年度</td> <td>増減数(率)</td> </tr> <tr> <td>広報・啓発</td> <td>95回</td> <td>70回</td> <td>86回</td> <td>+16回(+22.9%)</td> </tr> </table> <p>(1) 各種広報・啓発物品の作成・配布(主なもの)</p> <p>ア 広報誌「センターだより」の発行</p> <p>○ 年3回：6月(30号)、10月(31号)、2月(32号) 各3,500部 [送付先]正会員、賛助会員(団体・個人)、県犯罪被害者等支援協議会構成機関・団体、市町村、学校、支援自動販売機設置企業等</p> <p>イ リーフレット、チラシ、ポスター等</p> <p>○ 活動案内リーフレット 5,000枚</p> <p>○ 「命の大切さを学ぶ教室」チラシ 500枚、ポスター 200枚</p> <p>ウ うちわ 1,500枚(おまわりさんの演奏とドリルの祭典)</p>	区分	29年度	30年度	元年度	増減数(率)	広報・啓発	95回	70回	86回	+16回(+22.9%)						
区分	29年度	30年度	元年度	増減数(率)													
広報・啓発	95回	70回	86回	+16回(+22.9%)													

- エ 携帯カイロ 4,800 個(「被害者週間」富山駅広報、その他広報活動等)
- オ 2020 年卓上カレンダー 600 冊(被害者週間「講演会」、法人賛助会員等)
- カ ポケットティッシュ 1,000 個(市町村巡回パネル展、週間行事等)
- キ ボールペン&シャープペン 300 本(「作文コンクール」応募者等)

(2) 市町村巡回パネル展

巡回先	期 間	延べ日数	アンケート回収
15 市町村	8/19(月)~1/24(金)	84 日	232 件

- 平成 29 年度から県と合同で実施。

主に庁舎ホール。4 町村では引き続き福祉施設等で開催した。

- ・入善町：「コスモ 2 1」(ショッピングセンター)
- ・舟橋村：「舟橋会館」(入浴施設)
- ・上市町：「つるぎふれあい館」(入浴施設)
- ・立山町：「元気交流ステーション」(地鉄五百石駅併設)

(3) 「犯罪被害者週間」(11 月 25 日から 12 月 1 日)等にあわせた活動

ア 富山大学における被害者支援キャンペーン(兼支援自販機設置広報)

- 日時・場所：10 月 17 日(木)12:00~13:00 (資料等 150 部配布)

○参加機関等：警察本部、富山西警察署、大学教職員、学生ボランティア、当センター

イ 犯罪被害者週間「富山大会」の開催

- 日時・場所：11 月 21 日(木)14:00~16:40

ボルファートとやま「多目的ホール」(富山市奥田新町)

- 主催：警察庁、県、県警察、当センター

- 参加者数：約 250 名

(当センター関係：約 60 名(役員及び関係者、団体・個人賛助会員等))

- 内容(構成)

・主催者挨拶：警察庁長官官房審議官、県知事、県警察本部長

・基調講演：「少年犯罪で息子を奪われた母の想い」

講師：武 るり子 氏(少年犯罪被害当事者の会 代表)

・パネルディスカッション

「私たちにできる犯罪被害者支援」

[コーディネーター]

西尾 憲子 氏(高岡法科大学 准教授)

[パネリスト]

大岡 由佳 氏(武庫川女子大学 准教授)

木村 なぎ 氏(性暴力被害ワンストップ支援センターとやま

センター長)

武 るり子 氏(基調講演者)

在田 吉宏 氏((公社)富山青年会議所 2019 年度理事長)

・閉会挨拶：当センター理事長

ウ 富山駅における被害者支援キャンペーン

- 日時：11月25日(月)7:30～8:00 (資料等 1,500部配布)
- 参加機関等：県、警察本部、富山中央警察署、県犯罪被害者等支援協議会
構成機関・団体、学生ボランティア、富山市、当センター

エ 高岡法科大学における被害者支援キャンペーン(兼支援自販機設置広報)

- 日時：11月27日(水)12:10～12:40 (資料等 150部配布)
- 参加機関等：警察本部、高岡警察署、大学教職員、学生ボランティア、
当センター

(4) パネル、電光掲示等の活用

ア 広報パネルの掲出：JR富山駅南地下通路(通年)

イ 公共交通デジタルサイネージ：富山市内8スポット(12月中)

- 場所：電鉄富山駅・南富山駅、グランドプラザ、富山大学、富山国際大
学、ユウタウン総曲輪、路面電車18両、セントラム3両

(5) 市町広報誌の活用

- 有料～年2回：高岡市
年1回：黒部市、滑川市、氷見市、南砺市、小矢部市、上市町
- 無料～毎月：富山市、射水市

(6) 各種行事、会議等の活用

ア 関係機関・団体等主催行事における広報啓発

- ・ 8月4日 おまわりさんの演奏とドリルの祭典(オーバード・ホール)
- ・ 9月9日 交通安全県民大会(県民会館)
- ・ 10月7日 地域安全運動県民大会(県教育文化会館)
- ・ 11月20日 暴力追放県民大会(アゲック小杉文化ホール)

イ 他機関・団体が主催する研修会等における広報啓発

- ・ 10月16日 民生委員研修「当センターの活動状況、支援の必要性等」
(保護観察所)
- ・ 2月20日 法テラス富山「DV被害者相談支援」研修(県民会館)

5 支援員の
養成・支援
スキルの向
上

(1) 部内研修(県内)[継続研修、事例検討会、採用時養成講座等]

区分	29年度	30年度	元年度	増減数(率)
実施回数	24回	22回	21回	-1回(-4.5%)
受講者数(延)	189名	154名	130名	-24名(-15.6%)

[講師]大久保理事、全国被害者支援ネットワーク所属コーディネーター、弁護士、
臨床心理士、県職員、県警察職員等

ア 継続研修(高志会館)：6回 51名参加

6月18日、7月16日、9月17日、10月28日、11月21日、12月17日

イ 事例検討会(当センター研修室)：10回 47名参加

[午前：電話相談関係事例、午後：直接的支援関係事例]

4月18日(午後)、6月6日(午前、午後)、7月25日(午後)、9月5日(午前、
午後)、11月1日(午後)、12月5日(午前、午後)、2月6日(午前)

- ウ 採用時養成講座(高志会館)：4回 22名参加
- ・期間：5月20日～24日(うち4日間(11時限、13時間))
 - ・参加者：新規採用予定者1名を含む事務局職員、支援活動ボランティア
- エ 事務局研修(高志会館)：3月14日 10名参加

(2) 外部研修(県内・県外)

区 分	29年度	30年度	元年度	増減数(率)
参加回数	27回	33回	20回	-13回(-39.4%)
受講者数(延)	113名	61名	32名	-29名(-47.5%)

(注)研修参加要件、洪水被害による新幹線運休、新型コロナウイルスの感染拡大防止から研修中止等で減

ア 県内研修：4回 11名参加

- ・富山市「配偶者からのDV被害相談窓口担当者研修」8月7日 1名
- ・法テラス「地方協議会研修」11月25日 2名
- ・県「犯罪被害者等支援研修会」1月10日 1名
- ・性暴力被害ワンストップセンター合同研修 2月10日 7名

イ 県外研修：16回 延べ21名参加

○ (公社)全国被害者支援ネットワーク主催 10回 14名

- ・上級実地研修(大阪)7月8日～10日 延べ3名
- ・全国支援責任者研修(東京)8月2日～3日 延べ2名
- ・東海・北陸ブロック「質の向上研修」(岐阜)
上半期：7月20～21日 延べ4名 [下半期：3月7～8日 中止]
- ・全国フォーラム2019(東京)10月18日 2名
- ・秋期全国研修(東京)10月19日～20日 延べ3名

○ (公社)被害者支援都民センター主催(東京)

- ・実地研修 6月17日～21日 延べ5名

○ 警察庁「交通事故被害者支援窓口担当者研修」(金沢)

11月11日 2名参加

6 財政基盤
の整備

(1) 賛助会員数等

ア 賛助会員

(団体、名)

区 分	29年度	30年度	元年度	増減数(率)
団体(企業・法人)	236	232	212	-20(-8.6%)
個人(警察職員、 一般・警察OB)	2,501	2,511	2,450	-61(-2.4%)
合 計	2,737	2,743	2,662	-81(-3.0%)

[内訳]

- ・団体：212団体(前年度比-20団体[入会(再)5、退会(未納)25])
- ・個人：2,450名(前年度比-61名[入会(再)19、退会(未納)80])
うち一般・警察OB：211名(前年度比-21名[入会(再)19、退会(未納)40])

イ 賛助会費 (円)

区 分	29 年度	30 年度	元年度	増減数
団体(企業・法人)	2,910,000	3,025,000	2,630,000	-395,000
個人(警察職員、 一般・警察OB)	5,318,000	5,304,000	5,068,000	-236,000
合 計	8,228,000	8,329,000	7,698,000	-631,000

<令和元年度予算(8,000,000円)に比べ、302,000円の減>

[内訳]

- ・ 団体：263 口 2,630,000 円(前年度比 -395,000 円)
- ・ 個人：2,471 口 4,942,000 円(前年度比 -236,000 円)
うち一般・警察OB：295 口 590,000 円(前年度比 -156,000 円)

(2) 支援募金箱 (円)

区 分	29 年度	30 年度	元年度	増減数(率)
設 置 数	68 個	67 個	68 個	+1 個(+ 1.5%)
募 金 額	152,821	151,397	119,818	-31,579(-20.9%)

- 1 増は警察施設

(3) 支援自動販売機 (円)

区 分	29 年度	30 年度	元年度	増減数(率)
設 置 数	41 台	43 台	52 台	+ 9 台(+20.8%)
金 額	692,704	444,023	530,673	+86,650(+19.5%)

- 減 1 台：警察施設
- 増 10 台：大学、専門学校、会社等(理事・県警察の紹介、法人賛助会員等の支援)

(4) 寄付金

区 分	29 年度	30 年度	元年度	増減数
金 額	114,677	24,100	159,476	+135,476(+562.1%)

- 警察本部内所属におけるバザー収益金及び個人賛助会員から寄付を受けた。

(5) ホンデリング活動

区 分	29 年度	30 年度	元年度	増減数
金 額	46,643	5,988	15,980	+9,992(+166.9%)

- 賛助会員及び警察職員、小学校 PTA、当センター職員等から不要となった本約 1,000 冊の寄贈を受け取扱業者に送付した結果、うち約 350 冊の売却代金を寄付金として受け取った。

(6) 黄色いレシートキャンペーン

4 月、イオンモール高岡店において「黄色いレシートキャンペーン」贈呈式が行われ、買物客から当センターに寄せられた黄色いレシート 1 年間分の買物カード(8,300 円相当)の寄贈(支援)を受け、同店においてコピー用紙や文具を購入した。

<p>7 関係機 関・団体と の連携</p>	<p>(1) 県</p> <p>ア 県犯罪被害者等支援協議会(5月28日 県民会館)</p> <p>イ 県再犯防止推進計画検討委員会(第1回 7月31日 県民会館)</p> <p style="padding-left: 40px;">〃 (第2回 11月12日 高志会館)</p> <p style="padding-left: 40px;">〃 (第3回 2月20日 〃)</p> <p>(2) 県警察</p> <p>ア 「命の大切さを学ぶ教室」等</p> <p>○ 命の大切さを学ぶ教室等(聴講者数1,847名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高 校 7校 1,640名 ・ 大学(私立) 1校 120名 ・ 富山市被害者支援ネットワーク総会 56名 ・ 富山刑務所(3回) 23名 ・ ボランティア養成講座 8名 <p>○ 命の大切さを学ぶミニ教室(「14歳の挑戦」(DVDを視聴))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校 9校 35名 <p>イ 作文コンクール</p> <p>○ 「命の大切さを学ぶ教室」(ミニ教室を含む)を受講等した中学生・高校生から作文を募集し、応募のあった中学生110点、高校生41点の中から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生：最優秀賞2点、優秀賞2点、佳作5点 計9点 ・ 高校生：最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点 計6点 <p>について、理事長表彰(賞状及び副賞)した。</p> <p>(最優秀作等5点は、警察庁主催「全国作文コンクール」において警察庁長官賞等を受賞)</p> <p>ウ 市被害者支援ネットワーク総会</p> <p>11月射水市・富山市、1月魚津市、2月砺波市での「被害者支援ネットワーク総会」に出席し、当センターの活動状況、支援の重要性、意見交換などにより相互の連携等を図った。</p> <p>エ 県警察学校被害者支援専科生の施設見学等</p> <p>12月、専科生(警察官)19名が当センターを見学。その後、「支援センターの活動・役割」等の講義を行った。</p> <p>(3) 検察庁等連絡会議への参加</p> <p>5月及び9月、11月、地方検察庁、保護観察所、法テラス、少年鑑別所、性暴力被害ワンストップ支援センターとやま、当センターによる連絡会議に支援担当責任者が出席し、相互の連携強化を図った。</p> <p>(4) 市議会議員会派研修における講演</p> <p>9月、富山市議会議員会派研修において、当センターの活動内容、犯罪被害者等の実態(二次被害)、自治体における被害者支援に特化した条例の必要性等について講演した。</p>
--------------------------------	---

<p>8 人的基盤の充実確保と委託事業</p>	<p>県犯罪被害者等支援条例の施行(H29.4.1)に伴い、県より業務委託された「直接支援員業務」及び「研修委託支援員業務」について、事務局職員2名が引き続き、委託業務の推進、充実強化に努めた。</p>
<p>9 理事会・総会の開催</p>	<p>(1) 第1回理事会 5月16日(木) とやま自遊館3階「薬師の間」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告(案)及び収支決算(案)の承認 ・理事・監事の任期満了に伴う改選及び理事候補者の選出(案)の承認 ・定款の一部変更(案)の承認 ・令和元年度通常社員総会及び第2回理事会の招集(案)の決議 ・代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告 <p>(2) 通常社員総会 6月17日(月) とやま自遊館3階「立山の間」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告(案)及び収支決算(案)の議決 ・理事・監事の任期満了に伴う改選(案)及び新理事の選任(案)の議決 ・定款の一部変更(案)の議決 <p>(3) 第2回理事会(通常社員総会の終結後) 6月17日(月) とやま自遊館3階「立山の間」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表理事及び業務執行理事の選定(案)の決議 <p>(4) 第3回理事会 2月27日(木) とやま自遊館3階「立山の間」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認 ・事務局職員の任免の承認 ・代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告